

当該短大の特色について

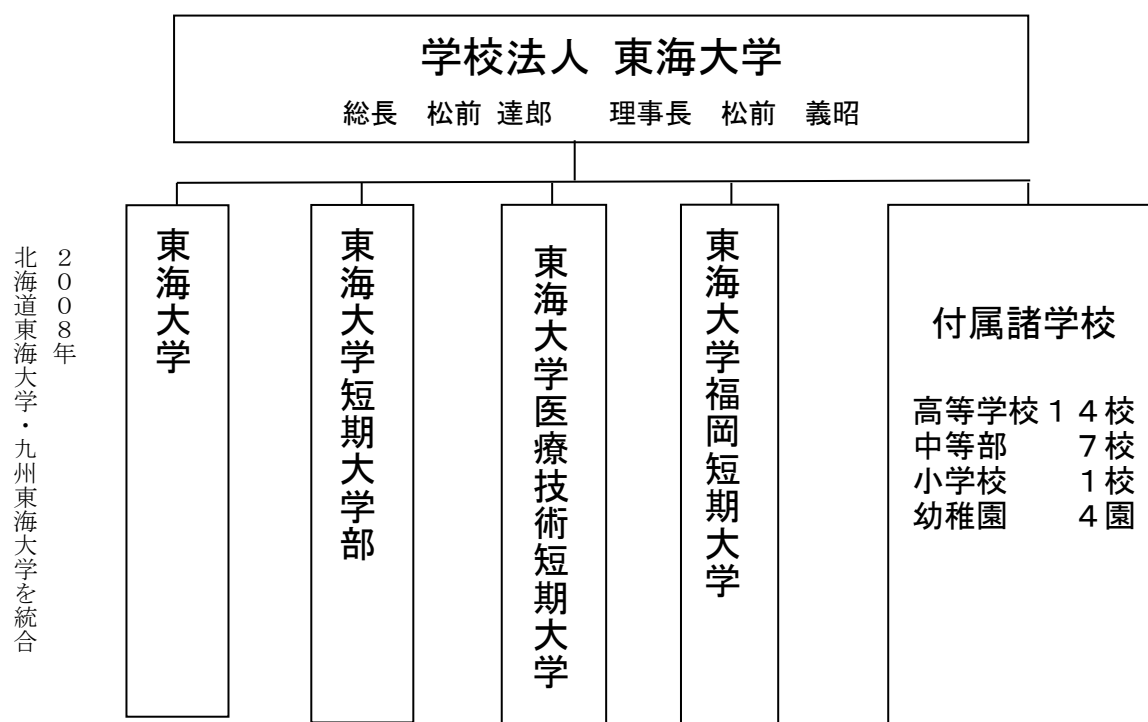
## 1. 法人の沿革と概要

学校法人東海大学の建学の原点は、創立者松前重義が 1936 年、東京・武蔵野に開いた私塾「望星学塾」にある。松前は、戦争によって荒廃した国を教育によって再興したデンマークの歴史に学び、その中心となった国民高等学校をモデルとしながら、志ある青年の教育道場として望星学塾を開いたのである。

松前は、この活動を基盤として 1942 年に学園を創設、翌 1943 年、東海大学の前身である航空科学専門学校を静岡県清水市（現静岡市清水区）に開校した。以来、戦中・戦後の混乱の中で多くの困難を克服しながら、1944 年、東京都中野に電波科学専門学校を開校、翌 1945 年には両校を合併して東海科学専門学校と改称し、1946 年に旧制大学（理工・経文学部）として認可され、1950 年の学制改革により、文学部、工学部を置く新制大学として新たなスタートを切った。

その後、教育・研究機関の整備に努め、2008 年に東海大学は、同一法人内の高等教育機関として設置されていた九州東海大学、北海道東海大学と統合。2014 年度現在、全国に 8 キャンパスを有し、21 学部 84 学科・専攻・課程を擁する総合大学へと飛躍した。

また学校法人東海大学は、他に短期大学部・短期大学（3 校）、高等学校（14 校：提携校含む）、中等部（6 校：提携校含む）、小学校（1 校）、幼稚園（4 園）、法人直轄機関（3 機関）、各校研究所・センター（17 機関）、付属機関・施設（18 機関）、医学部付属病院（4 院）、米国ハワイ州にはハワイ東海インターナショナルカレッジなど、国内外に幾多の施設をもつ総合学園となっている。



## 2. 短大の沿革と概要

1966 年 4 月、本学の前身たる東海大学福岡教養部が開設された。当教養部は、地元における大学誘致の懇請もあり、また、地元高校の生徒が引き続き当地において勉学ができることによる保護者の経済的な負担の軽減をも考慮して、東海大学工学部の一組織として設置されたものであった。しかし、開設から 20 余年が経過し、福岡県内出身者が全体の 20% にすぎなくなったこと、専門課程をもたないため、研究体制に支障をきたしていること、地元での就職機会が少なくなったこと、さらに地域社会の要請に応えることが難しくなったことなどから、福岡教養部の見直しが急務となった。このような状況において、福岡教養部設置の当初の目標は概ね達せられたと判断し、教養部を廃止して、新たに地域社会に密着し、地元に貢献できる実践的な人材育成を目的とした教育機関として、情報処理科と国際文化学科の 2 つの学科から構成される短期大学を創設した。

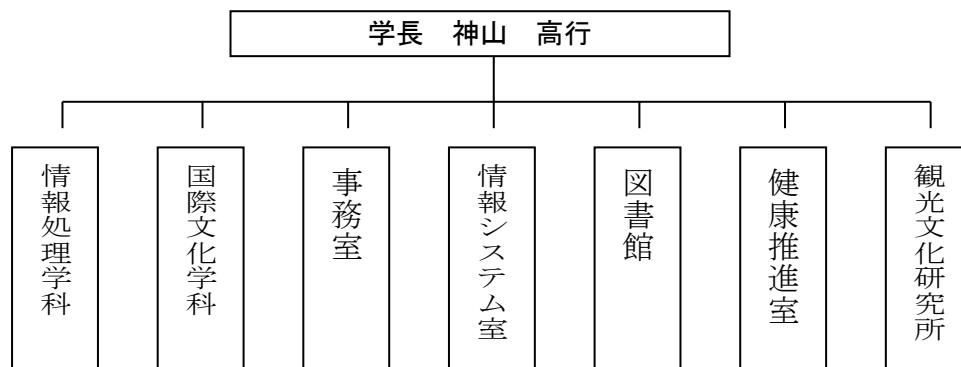
1990 年 3 月 東海大学福岡教養部廃止

1990 年 4 月 東海大学福岡短期大学設置（1989 年 12 月 22 日設置認可）

(情報処理学科：定員 140 名・国際文化学科：定員 140 名)

スチューデント・ユニオン (3 号館) 竣工

- |        |      |   |
|--------|------|---|
| 1990 年 | 11 月 | 地域教養講座開講  |
| 1991 年 | 3 月  | 語学研修 (ハワイ) 実施   |
| 1992 年 | 4 月  | 同窓会発足   |
| 1993 年 | 2 月  | 教育研究年報発刊  |
| 1996 年 | 4 月  | 観光文化研究所を設置  |
| 1998 年 | 4 月  | 東海大学コモンホール (体育施設) 竣工、セメスター制など教育改革に着手  |
| 1998 年 | 12 月 | 1 号館 2 階にマルチメディア教材作成システム施設「デジタルスタジオ」を設置   |
| 1999 年 | 11 月 | 地域との連携強化の一環として宗像市と提携事業協定を締結。  |
| 2000 年 | 11 月 | 3 号館 2 階に地域開放型コンピュータ施設「メディアラボ」を新設   |
| 2002 年 | 4 月  | メディア情報学習支援センター (現メディア情報センター) を設置<br>学校法人東海大学エクステンションセンター福岡講座を開設                                   |
| 2003 年 | 4 月  | 系・履修モデル制を導入<br>情報処理学科：システム系・インターネット系・マルチメディア系・ビジネスマネジメント系・総合系<br>国際文化学科：観光・ビジネス系・人間コミュニケーション系・総合系 |
| 2005 年 | 4 月  | 両学科から履修できる学科共通モデルを新設し、2 学科 7 分野 25 の履修モデルに再編<br>(以降、原則として毎年度履修モデルの再編を実施)                          |
| 2005 年 | 8 月  | 本学が推進する「学びの自由化と個別教育の推進」が、文部科学省の現代的教育ニューズ取組支援プログラム (略称「現代 GP」) のテーマ 6「e-Learning Program の推進」に採択   |
| 2008 年 | 2 月  | 福岡県立折尾高等学校との「高大連携事業に関する協定書」等の締結<br>韓国東義科学大学との「交換留学生の派遣に関する覚書」の締結                                  |
| 2008 年 | 4 月  | 入学定員を「情報処理学科：100 名・国際文化学科：100 名」に変更   |
| 2008 年 | 10 月 | 本学が推進する、仮想会社を中核とした人材育成と地域活性化が連動した実践活動「地域活性型人材育成プログラム」が、文部科学省の教育推進プログラム (教育 GP) に採択                |
| 2009 年 | 10 月 | 本学が推奨する「大学改革推進事業・大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」が文部科学省の連携推進プログラム (連携 GP) に採択                            |
| 2010 年 | 3 月  | 本学が受けた短期大学基準協会「平成 21 年度第三者評価」の結果が適格認定   |
| 2011 年 | 3 月  | 福岡県立小倉商業高等学校、福岡県立宇美商業高等学校、福岡県立筑豊高等学校との「高大連携事業に関する協定書」等の締結   |
| 2012 年 | 3 月  | 韓国白石大学・白石文化大学との「学術文化交流に関する合意書」および「同同意書に基づく交換留学生の派遣に関する覚書」の締結                                      |
| 2014 年 | 1 月  | 韓国水原大学、培材大学との「学術文化交流に関する合意書」および「同同意書に基づく交換留学生の派遣に関する覚書」の締結  |
| 2015 年 | 6 月  | 2017 年度入学生募集停止を発表   |
| 2018 年 | 2 月  | 「学位授与式並びに閉学式」、「閉学記念パーティー」、「記念誌：28 年の歩みの発刊」  |
| 2018 年 | 3 月  | 東海大学福岡短期大学閉学 (同年 4 月に文部科学省へ法人より廃止認可の申請予定)   |



### 3. 所在地、位置

所在地：〒811-4198 福岡県宗像市田久 1-9-1  
 位置：JR 鹿児島本線「赤間駅」から徒歩 12 分



### 4. 周囲の状況（産業、人口）

本学が位置する宗像市は、豊かな自然が残る「学術・文化都市」である。北九州・福岡の両政令指定都市の中間にあり、北を除く 3 方向を山に囲まれ、南は筑豊地方と接する交通・文化の要衝であったため、数多くの歴史を有してきた。

北の海岸線一帯は玄海国立公園に指定され、好漁場である玄界灘に面し、七夕伝説発祥の地と言われる県内最大の島・筑前大島や、遣唐使も立ち寄った海の正倉院・沖ノ島が沖合 60 キロにある。また、中央を市の水源でもある釣川が貫流し、玄界灘に注いでいる。このため保全活動には早くから取り組み、全国でも有数の高度下水処理など、水質浄化に努めている。

市内を東西に横断する JR 鹿児島本線や国道 3 号線・495 号線により、福岡・北九州への通勤などの交通アクセスが充実し、住宅団地や大学（本学をはじめ、福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学の 3 大学）、大型商業地などが相次いで進出。活気あふれる学術・文化都市として、発展している。これに伴い、農村から急激な都市化が進み、学童保育や保育園の充実、医療費補助などの子育て支援や教育・文化の充実、環境衛生などの生活基盤が整備された。人口は現在も伸び続けている。

2003 年に旧宗像市と旧玄海町が合併し、新生「宗像市」が誕生した。2005 年には旧大島村と合併。現在では、市民と行政がともに、地域コミュニティや市民参画・協働によるまちづくりが進んでいる。（参考資料：宗像市公式ホームページ）

### 5. 募集定員と入学者数、定員充足率

2017 年度 募集定員とその内訳 ※2017 年度募集停止により入試を行わず

学科	給付奨学金入試	AO入試	推薦入試	一般入試	留学生入試・社会人推薦入試	秋学期入試	合計
情報処理学科							
国際文化学科							

2017 年度 入学者数と定員充足率 ※2017 年度募集停止により入学者なし

学科	定員	入学者	定員充足率
情報処理学科			
国際文化学科			
合計			

## 6. 設置学科の過去3年（2015年度～2017年度）の改編状況

### 情報処理科

	2015年度	2016年度	2017年度
入学定員	100	100	0
入学者数	28	20	募集停止により入学者なし
入学定員充足率	28.0%	20.0%	0%
収容定員	200	200	100
在籍者数	47	48	18
収容定員充足率	23.5%	24.0%	18.0%
分野・コース等	Web デザイン	Web デザイン	Web デザイン
	デジタルアート	デジタルアート	デジタルアート
	オフィスマネジメント	オフィス・医療事務	オフィス・医療事務
	医療情報	スポーツ健康科学	スポーツ健康科学

### 国際文化学科

	2015年度	2016年度	2017年度
入学定員	100	100	0
入学者数	72	49	募集停止により入学者なし
入学定員充足率	72.0%	49.0%	0%
収容定員	200	200	100
在籍者数	140	121	49
収容定員充足率	70.0%	60.5%	49.0%
分野・コース等	レジャー&ツーリズム	観光ビジネス	観光ビジネス
	英語・韓国語・中国語	英語・韓国語・中国語	英語・韓国語・中国語
	スポーツマネジメント	スポーツマネジメント	スポーツマネジメント

## 7. 入学生の過去3年（2014年度～2016年度）の出身地別人数

地域	都道府県	2014年度		2015年度		2016年度	
		入学人数	割合(%)	入学人数	割合(%)	入学人数	割合(%)
九州・沖縄	福岡	59	67.82%	63	63.00%	40	57.97%
	佐賀	2	2.30%	1	1.00%	5	7.24%
	長崎	0	0.00%	0	0.00%	2	2.90%
	熊本	13	14.94%	18	18.00%	12	17.39%
	大分	2	2.30%	2	2.00%	1	1.45%
	宮崎	2	2.30%	5	5.00%	1	1.45%
	鹿児島	3	3.45%	2	2.00%	2	2.90%
	沖縄	3	3.45%	0	0.00%	3	4.35%
中国	山口	0	0.00%	5	5.00%	0	0.00%
東海	愛知	0	0.00%	0	0.00%	1	1.45%
中部	長野	1	1.15%	0	0.00%	0	0.00%
関東	千葉	0	0.00%	1	1.00%	0	0.00%
その他（留学生含）		2	2.30%	3	3.00%	2	2.90%
合計		87	100.00%	100	100.00%	69	100.00%

## 8. 法人が設置する機関、所在地、入学定員、収容定員

(2017年5月1日現在)

学 校 名	所 在 地	入 学 定 員	収 容 定 員
東海大学	平塚市北金目 4-1-1	6,758	27,299
東海大学短期大学部	静岡市葵区宮前町 10	200	400
東海大学医療技術短期大学	平塚市南金目 4-1-2	80	240
東海大学福岡短期大学	宗像市田久 1-9-1	200	400
付属浦安高等学校	浦安市東野 3-11-1	370	1,110
付属相模高等学校	相模原市南区相南 3-33-1	600	1,800
付属高輪台高等学校	港区高輪 2-2-16	420	1,260
付属静岡翔洋高等学校	静岡市清水区折戸 3-20-1	360	1,080
付属熊本星翔高等学校	熊本市東区渡鹿 9-1-1	400	1,200
付属諏訪高等学校	茅野市玉川 675	360	1,080
付属札幌高等学校	札幌市南区南沢 5 条 1-1-1	280	920
付属福岡高等学校	宗像市田久 1-9-2	320	960
付属仰星高等学校	枚方市桜丘町 60-1	400	1,120
付属市原望洋高等学校	市原市能満 1531	370	1,110
付属望星高等学校	渋谷区富ヶ谷 2-10-1	1,000	3,000
付属甲府高等学校	甲府市金竹町 1-1	320	960
山形高等学校	山形市成沢西 3-4-5	330	990
菅生高等学校	あきる野市菅生 1817	320	960
付属浦安高等学校中等部	浦安市東野 3-11-1	120	360
付属相模高等学校中等部	相模原市南区相南 3-33-1	160	480
付属高輪台高等学校中等部	港区高輪 2-2-16	80	240
付属静岡翔洋高等学校中等部	静岡市清水区折戸 3-20-1	120	360
付属仰星高等学校中等部	枚方市桜丘町 60-1	120	360
菅生高等学校中等部	あきる野市菅生 1468	80	240
付属静岡翔洋小学校	静岡市清水区折戸 3-20-1	60	360
付属静岡翔洋幼稚園	静岡市清水区折戸 3-20-1	—	165
付属本田記念幼稚園	伊勢原市下糟屋 111	—	240
付属自由ヶ丘幼稚園	宗像市田久 1-9-3	—	350
付属かもめ幼稚園	熊本市中央区帯山 7-13-41	—	405

## 9. 課題への対応

2015年6月1日学校法人東海大学により、本学の2017年度学生募集の停止が公表された。これは、2016年度に入学する学生が、本学最後の入学生であることを意味した。したがって、2016年度入学生に対しては、2015年度中の広報期間中はもとより、2016年4月最初の入学時ガイダンス等で、入学生全員2年間での卒業を目指すことを教職員はもとより、学生全員の目標とした。

また、学生募集を停止したということは、最後となる年度における学生諸君に対し、いかにして教育の質と学生生活上の満足度を保証するかが本学最大の課題となった。それを実現するため、ひとつには卒業年度の秋学期開始時期を1ヶ月早め、12月中に授業を終え1月の1ヶ月間を卒業に不足する教育的支援期間として、学年暦を前倒しした点が上げられる。それから、本学の特徴である「学生カルテ」を有効活用し、挫折しそうな学生の早期発見と素早いフォローに務めることとした点も上げられる。さらに、学生諸君の学生生活に対する満足度を上げるため、学友会主催の事業をできる限りサポートすることを念頭に学生支援活動を行った。